

橋梁技術発表会 及び 講演会

ライブ配信予定!!

開催概要

日時	令和8年11月27日(金) 13:30~16:45
会場	レソラNTT夢天神ホール 5F 福岡市中央区天神2-5-55
申込	https://www.jasbc.or.jp/ ※申込はWebサイトのみです。
申込受付期間	8月27日~11月20日
継続教育	—
資料	会場では配布いたしません。必要に応じて Webサイトより出力し持参願います。 11月19日掲載予定

《開催日一覧》		
地区	開催日	申込締切
東京地区	10/02(金)	09/25(金)
大阪地区	10/16(金)	10/09(金)
北海道地区	10/23(金)	10/16(金)
中部地区	11/06(金)	10/30(金)
東北地区	11/17(火)	11/10(火)
九州地区	11/27(金)	11/20(金)
(6地区開催ですが発表テーマは異なります)		



開会	13:30~13:35	開会の辞	(一社)日本橋梁建設協会 副会長 中村 譲
第一部 技術発表	13:35~14:10	技術発表(1) 耐候性鋼橋の現状と今後の展望 ~LCCに優れ、環境負荷を低減できる橋として~	製作小委員会
	14:10~14:45	技術発表(2) 都心住宅街に位置する幹線道路と高速出入口の交差点における橋梁架設 ~ヤード制約が多い中で既設構造物との干渉に配慮した曲線桁の送出し架設~	架設小委員会①
	14:45~14:55	休憩	
	14:55~15:30	技術発表(3) バングラデシュ・ジャムナ鉄道専用橋 ~大河ジャムナ川に架かるアジア最大級の連続トラス鉄道橋~	海外事業委員会① 上部工工事報告
	15:30~15:40	休憩	
	15:40~16:40	道路に関する最近の話題について	九州地方整備局 道路情報管理官 樋口 恒一郎
第二部 特別講演	16:40~16:45	閉会の辞	橋梁技術発表会 実行小委員会 委員長 本田 政樹

発表概要

【技術発表(1)】

本発表では、耐候性鋼橋の耐久性および維持管理性の向上を目的として実施した各種検討結果と事例について報告します。まず、近年適用事例が増加している耐候性鋼表面処理剤について、流れさびの防止や経年初期の外観改善といった利点に加え、塗膜の経年変化に伴う外観の変化や点検時に注意すべき点を整理し、沖縄で実施した暴露試験の結果を報告します。次に、耐候性鋼を裸仕様で用いた場合に見られる連結板の接合面におけるさび生成と連結板の反りの発生に着目し、ボルトの縁端距離および間隔が及ぼす影響について、連結部を模擬した試験体の暴露試験結果を通じて考察します。さらに、耐候性鋼の健全度評価を支援する手法として、実橋の3Dスキャンデータを基に作成したさびサンプルを紹介し、最後に、適切な環境条件とディテール選定により良好な状態を維持している橋梁の事例を取り上げ、LCCおよび環境負荷低減の観点から耐候性鋼橋の優位性を検証します。

【技術発表(2)】

首都圏の渋滞緩和、環境改善、円滑な交通ネットワークの構築を目的とした東京外かく環状道路の延伸工事に伴い、大泉ジャンクションにて関越自動車道と外環自動車道延伸部との接続ランプ橋梁・橋脚を架設しました。

本工事では、住宅街近傍での狭小な施工ヤードに加えて地下埋設物が横断するなど制約が多い中、さらに近接した既設構造物との干渉にも配慮する必要があり、送出し構台の配置や送出し線形の設定、ガイド設備、手延機のためみ処理などに工夫をして曲線桁の送出し架設を実施しました。本発表では、送出し架設での工夫のほか、ヤード制約がある中での鋼製橋脚の架設、床版コンクリート施工についても工夫した点を中心に報告します。

【技術発表(3)】

ジャムナ鉄道専用橋建設工事プロジェクトは、バングラデシュ人民共和国の経済成長に伴う将来の鉄道輸送需要への対応等を目的にJICA有償資金援助により実施されたプロジェクトです。本プロジェクトは、橋梁上・下部工、駅舎、盛土工、護岸工事等の多工種が含まれ、プロジェクト総延長12.5kmはジャムナ川中央部を境に東西2工区に分割発注されました。

その中で主橋梁に位置づけられるジャムナ鉄道専用橋は、国土中央部に南北に流れる大河ジャムナ川の渡河部に計画された延長4.8km、鋼重約41,000トンの連続トラス鉄道橋で、東工区2.55km、西工区2.25kmを担当しました。工事期間中には、新型コロナパンデミック、ミャンマー政変、ロシアのウクライナ侵攻、バングラデシュ政変等の想定外イベントが工事進行に大きな影響を及ぼしましたが、2025年3月に上下線を開通することが出来ました。本発表では、ジャムナ鉄道専用橋の上部工工事の製作、輸送、現地架設に関する一連の活動を報告します。